

IPS 2026 FUKUOKA 基本スケジュール

6月	18(木) プレ1日目	19(金) プレ2日目	20(土) プレ3日目	21(日) プレ4日目	22(月) 1日目	23(火) 2日目	24(水) 3日目	25(木) 4日目	26(金) 5日目	27(土)～ 6日目～
科学館	フルドームフェスティバル		IPS 理事会 連携シンポジウム		スポンサープロモーション セッション & ワークショップ					
国際 センター							スポンサー展示会			
国際 会議場							総会/ 同時開催セッション/ 基調講演			
大濠公園 能楽堂			ウェルカム イベント							
未定									バンケット	ポスト カンファレンス ツアー

6月18日(木)・19日(金)

福岡市科学館ドームシアターを会場としてフルドームフェスティバルを開催。
世界各国の制作者から応募されたコンテンツ上映。ショートムービー、長編ムービーのコンテストを実施予定。

6月20日(土)・21日(日)

福岡市科学館にて IPS 理事会を開催。同時に市民が参加できるシンポジウムやイベントなども実施予定。
21日(日) 夕刻からのウェルカムイベントは、大濠公園能楽堂で日本の伝統文化である能楽鑑賞。食事&懇親会を実施予定。

6月22日(月)・23日(火)

福岡市科学館のドームシアターおよびサイエンスホールで、出展者・スポンサーによる最新の機器や映像のデモンストレーション、
その他展示室や実験室でのセッションやワークショップも実施予定。

6月24日(水)～26日(金) 午前

会場を福岡国際センター、福岡国際会議場に移動。国際センターでは各スポンサーブースで各社の最新技術や映像に触れ、国際
会議場では、最大1,000人収容できるホールや、大小20以上の会議室でのセッションやワークショップを実施。
セッションテーマは以下を検討中。

一般トピック

- ◎フィロソフィ
- ◎技術とハードウェア
- ◎管理・運営・広報
- ◎プラネタリウムと天文教育
- ◎インクルージョン・多様性・公平性・アクセシビリティ
- ◎モバイルプラネタリウム
- ◎プラネタリウムの未来

企画セッション (IPS 2026 FUKUOKA オリジナル)

- ◎プラネタリウムと天文学普及の軌跡
- ◎世界のプラネタリウム愛好家
- ◎世界の星の伝承
- ◎プラネタリウムと宇宙開発ビジネスとの連携
- ◎日本のアニメ文化とプラネタリウム

6月26日(金) 午後

福岡の近隣をめぐるツアーや夕刻からはバンケット(晩餐会)を開催予定。

6月27日(土)～ ポストカンファレンスツアー

(日本)国内のプラネタリウム施設や天文台、観光地を巡る旅を検討中。

内容は変更する場合があります。最新情報はホームページをご参照ください。

<https://www.ips2026fukuoka.com/>



IPS 2026 FUKUOKA 国内組織委員会

〒810-0044 福岡市中央区六本松 4-2-1 福岡市科学館内
TEL: 092-731-2525 / FAX: 092-731-2530
E-mail: ips-fukuoka@fukuokacity-kagakukan.jp

出展スポンサーに関する窓口

Professional Congress Organizer (PCO)
IPS 2026 LOC サポートチーム
E-mail: sponsor_ips2026@officebeone.com

資料 7

プラネタリウムの国際会議が
2026年6月 福岡にやってくる！



FUKUOKA
2026



6月21日(日)～26日(金)

ウェルカムイベント 6月21日(日) 夕刻
カンファレンス 6月22日(月)～26日(金) 午前
バンケット 6月26日(金) 夕刻



IPS 2026 FUKUOKA 大会

2026年6月。国内では30年ぶりに国際プラネタリウム協会（IPS: International Planetarium Society）の大会が開催されます。この大会の HOST を福岡市科学館が担います。

この大会には、世界中のプラネタリウムや天文に関係する・興味を持つ人々が集結します。プラネタリウムの最新業界情報に触れ、世界中のプラネタリアンと意見を交換し、交流を深めるイベントが盛りだくさんです。国内での開催は大変貴重な機会となります。ぜひご参加ください。

大会趣旨 “One Earth, One Sky”

人類の歴史を通じて、私たちは独自の言語と文化を持つ多様な社会を築いてきました。そして今日、持続可能な社会の実現という課題に直面する中で、国際的な協力はこれまで以上に重要となっています。こうした時代において、分野や国境を越えて人々がつながり、知恵や経験を共有する場が求められています。

IPS 2026 FUKUOKA は、“One Earth, One Sky” をテーマに、プラネタリウム誕生100周年を経て開催される最初の大会です。世界中のプラネタリウム関係者が福岡の空の下に集い、次の100年に向けて新たな創造を育むカンファレンスを目指します。

IPS 2026 FUKUOKA HOST
国内組織委員会 組織委員長

福岡市科学館 館長 矢原 徹一



IPS カンファレンスの歴史（過去大会）

第13回 1996年 大阪(日本)	第14回 1998年 ロンドン(イギリス)	第15回 2000年 モントリオール(カナダ)
第16回 2002年 ウィチタ(アメリカ)	第17回 2004年 バレンシア(スペイン)	第18回 2006年 メルボルン(オーストラリア)
第19回 2008年 アドラー(アメリカ)	第20回 2010年 アレクサンドリア(エジプト)	第21回 2012年 バトンルーージュ(アメリカ)
第24回 2014年 北京(中国)	第25回 2016年 ワルシャワ(ポーランド)	第26回 2018年 トゥールーズ(フランス)
第27回 2020年 バーチャルカンファレンス	第28回 2021年 バーチャルカンファレンス	第29回 2024年 イエナ/ベルリン(ドイツ)
第30回 2026年 福岡(日本)		



IPS President **Dr. Shannon Schmoll**
Director, Talbert and Leota Abrams Planetarium, Michigan State University

国際プラネタリウム協会（IPS: International Planetarium Society）

IPS は世界最大のプラネタリウム関係者による団体です。1970年の発足以来、世界中の学校、大学、博物館、天文台、公共施設などのあらゆる施設・規模のプラネタリウムを代表する約500名（世界50カ国）の会員が本会に加入し、2年おきに各国都市でカンファレンスを開催しています。

2023～2025年にかけてのプラネタリウム100周年記念事業も世界各国で開催され、2024年イエナ/ベルリン大会は、プラネタリウム発祥の地で100周年を祝う記念大会となりました。



大会会場と交通機関



福岡市科学館

IPS 2026 FUKUOKA 開催に先立ってプレイベントとして、フルドームフェスティバルをドームシアターで開催します。ショートムービー、長編ムービーの放映を予定しています。また共催イベントも行う予定です。25mドームでの作品鑑賞をお楽しみください。カンファレンス第1日目はここから始まります。スポンサーによるプレゼンテーションをドームシアターとサイエンスホールで開催します。ペーパーセッション、ワークショップ、グループディスカッションを各室で実施します。コンパクトな空間で、発表者との距離も近く、活発なコミュニケーションも生まれることでしょう。

フルドームフェスティバル：2026年6月18日(木)・19日(金)

共催イベント：2026年6月20日(土)・21日(日)

カンファレンス（1日目・2日目）：2026年6月22日(月)・23日(火)

福岡国際センター

大きな空間にスポンサーの出展ブースを設置します。出展者・スポンサーの最新技術や最新の作品に触れる機会となります。コンテンツ制作者や研究発表用に仮設ドームの設置も計画。昼食会場や商談スペースなども用意し、快適な空間を提供します。

カンファレンス（3日目～5日目）：2026年6月24日(水)・25日(木)・26日(金)

福岡国際会議場

IPS 2026 FUKUOKA での特別企画や日本のプラネタリウムや天文台、そして天文教育関係者との合同セッションを企画しています。ここでは、“One Earth, One Sky” のテーマにそったペーパーセッション、ワークショップ、グループディスカッションも実施します。大ホールでは、IPS 総会のほか、基調講演、閉会式（メモリアル、アワード、写真撮影など）を行います。

カンファレンス（3日目～5日目）：2026年6月24日(水)・25日(木)・26日(金)

